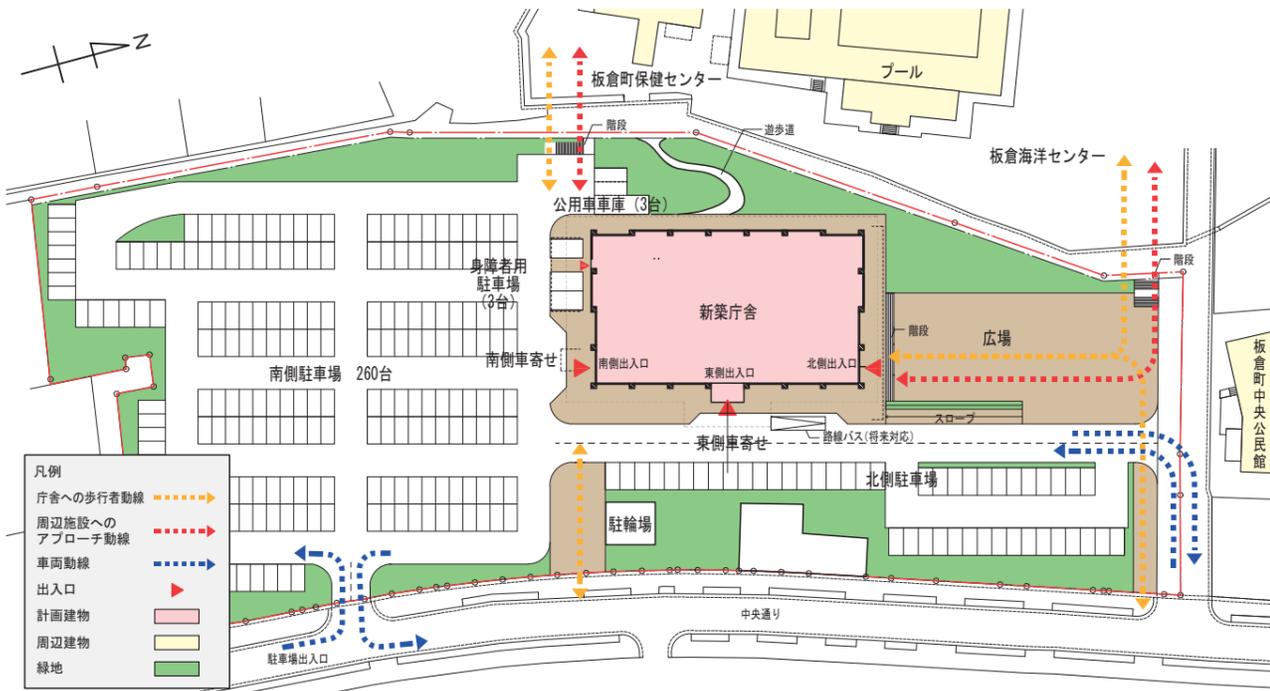


内観イメージ



配置計画

敷地のほぼ中央に新庁舎の建物を配置し、周囲に広場や大きな駐車場を整備し、周辺施設との連携や相互利用を図ります。

- ・歩車分離に配慮した車両動線計画、安全でわかりやすい歩行者動線の整備を行います。
- ・車での来庁者の利便性を考慮し、東側と南側に車寄せを設け、雨に濡れない動線を確保します。
- ・広場は町の行事や各種イベントが開催できる場所とし、南側駐車場は大きなイベント時にも活用できる広さを確保します。
- ・駐輪場の整備、将来の路線バス導入にも配慮した計画にします。
- ・敷地の周囲に沿って植栽を施し、安らぎのある風景を作ります。

今後の事業予定

平成28・29年度に建設工事を行い、平成30年度の移転及び開庁を予定しています。

新庁舎が町民の皆様にとって快適に利用でき、安心して暮らせる町の拠点となることを目指していきます。

問合せ 企画調整係
 内線 142

外観イメージ



役場新庁舎 基本設計を策定

新庁舎の設計に関し、板倉町役場庁舎建設委員会(※1)において協議・検討を重ねられ設計の骨子となる基本設計が策定されました。完成予想の外観イメージや配置計画など設計概要をお知らせします。

(※1)「板倉町役場庁舎建設委員会」庁舎建設に関し総合的な意見集約及び審議を行う組織として、町長・町議会議員・教育長・各種団体代表・有識者・町職員の30名で構成。

設計コンセプト

新たな町の拠点となる庁舎

- ・周囲の公共施設と円滑な相互活動の連携を図り、町の新たな拠点施設をつくります。

誰もが使いやすく町民サービスの向上を図る庁舎

- ・明るく環境が良い窓際に待合ロビーを設け、来庁者が利用しやすい動線計画にします。
- ・各階の執務室を1箇所に集約し執務連携を高め、町民サービスの向上を促します。

防災・災害復旧拠点施設として安全に機能を維持する庁舎

- ・庁舎の地盤を周囲より1m高くし、水害に強い安全な庁舎にします。
- ・重要設備は屋上階に設け、災害時に確実な機能維持を担保します。

自然エネルギーの利用・省エネ対策を取り入れた庁舎

- ・建物全周のひさしにより夏場の強い日差しを避け、空調エネルギーを削減します。
- ・階段を風の通り道として活用し、自然換気による冷房期間の短縮化を図ります。
- ・屋上で集水した雨水をトイレの洗浄水や緑化散水に利用します。

合併等も想定した用途変更に対応できる庁舎

- ・柱の少ない正形でシンプルなつくりにより、建物の汎用性を高め、将来の用途変更にも柔軟な対応を可能にし、建物の有効活用を図ります。

計画概要

- ・計画地：板倉町大字板倉 字西原、亥ノ子及び入之山 地内
- ・敷地面積：14,872.69㎡
- ・建築面積：約1,800㎡
- ・延床面積：約4,150㎡
- ・階数：地上3階建+塔屋
- ・建物高さ：約17m
- ・構造種別：鉄筋コンクリート造 (一部プレストレストコンクリート造梁)
- ・構造方式：耐震構造